

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	オラパリブ(肺癌)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 俊
適応がん種	BRCA遺伝子変異陽性の治癒切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Pa-017
登録日・更新日	2021年3月2日
削除日	
出典	リムバーザ錠 添付文書(2020年12月改訂) リムバーザ錠 適正使用ガイド
入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	オラパリブ (リムバーザ錠)	100mg、150mg	300mg/回	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1日2回	連日

1コースの期間	設定なし
投与間隔の短縮規定	設定なし
計算後の投与量上限値	300mg/回
計算後の投与量下限値	200mg/回
減量・中止基準	<p>【開始基準】 Hb \geq 9.0g/dL、WBC $>$ 3,000/μL、ANC \geq 1,500/μL、Plt \geq 10万/μL、T-Bil \leq 1.5mg/dL、AST \leq 80U/L、ALT \leq 100U/L、SCr \leq 1.5mg/dL</p> <p>【減量基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> Hb $<$ 8.0g/dL (Grade3) Hb \geq 9.0g/dLになるまで最大4週間休薬する。 再開時の投与量: 1回目 \rightarrow 減量せず、2回目 \rightarrow 250mg/回へ減量、3回目 \rightarrow 200mg/回へ減量。 ANC $<$ 1,000/μL (Grade3) ANC \geq 1,500/μLになるまで休薬する。 再開時の投与量: 1回目 \rightarrow 減量せず、2回目 \rightarrow 250mg/回へ減量、3回目 \rightarrow 200mg/回へ減量。 Plt $<$ 50,000/μL (Grade3) Plt \geq 75,000/μLになるまで休薬する。 再開時の投与量: 減量せず。 上記以外のGrade3 (CTCAE v5.0) 以上の有害事象発現時 Grade1以下に回復するまで休薬する。 再開時の投与量: 減量せず。
前投薬	なし
その他の注意事項	<p>【投与対象患者】 BRCA遺伝子変異陽性の治癒切除不能な肺癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法</p>  <p>以下の条件を満たす肺癌患者が本剤による治療対象となる。 治癒切除不能な肺癌と診断され、gBRCA遺伝子変異陽性 プラチナ製剤を含む化学療法を実施し、疾患進行が認められていない(CR、PRまたはSD)</p> <ul style="list-style-type: none"> 100mg錠と150mg錠の生物学的同等性は示されていないため、300mgを投与する際には100mg錠を使用しないこと。 併用注意薬剤: CYP3A誘導・阻害作用を有する薬剤 \rightarrow 中程度または強いCYP3A阻害剤を併用する際には本剤の減量を考慮する必要あり。 腎機能障害患者における用量調節(海外添付文書) CLCr \geq 51~81mL/min \rightarrow 用量調節不要 CLCr = 31~50mL/min \rightarrow 1回200mg 1日2回 CLCr \leq 30mL/min \rightarrow 使用経験なし BRACAnalysis診断システムがコンパニオン診断薬等として製造販売承認されている。

記入者	田中 慎
確認者	宮地 康徳